

2017年1月

経営Q&A

回答者

トーマツ ベンチャーサポート株式会社

Morning Pitch 総合プロデューサー

納富 隼平

「現代のベンチャー企業を知る」

第4回：「XTech（クロステック）」はどういう意味なのか

Question

【相談者：ベンチャー企業からの相談依頼がある会計士・税理士】

私の事務所では昔から中小企業・小規模事業者からの相談依頼が多かったのですが、最近ではベンチャー企業の方からの相談も増えてきました。

ベンチャー企業や業界のことを調べていると、FinTech（フィンテック）やSportsTech（スポーテック）、FashionTech（ファッションテック）という「既存産業にTechがついた単語」をよく目にします。何やらITが関係していることはわかるのですが、どういう意味なのか詳しく教えてください。

Answerの要点

- FinTech など「既存産業にTechがついた単語」はXTech（クロステック）と呼ばれ、既存産業とTechnology（IT）の組み合わせのことです。
- XTech とは、IT化が遅れている既存産業にITを持ち込み、新しい価値をユーザに届けようとするものの総称です。
- XTech はベンチャー企業だけでなく、大企業や既存のプレイヤーも取り組むべき事項です。



日本政策金融公庫
国民生活事業

Answer

《執筆者紹介》

2009年明治大学経営学部卒、2011年早稲田大学大学院会計研究科修了。在学中に公認会計士試験に合格。大手監査法人で大手電機メーカーを中心に会計監査に携わった後、トーマツベンチャーサポート株式会社に参画し、ベンチャー支援に従事。

毎週開催早朝ピッチイベント“Morning Pitch”、BtoCベンチャープレゼンイベント“sprout”、ベンチャーとエンジニア・デザイナーマッチングプラットフォーム“faces”を責任者として運営。得意分野はファッションを含む衣食住等のライフスタイル関連のBtoCサービス。

なお、本記事は筆者の私見であり、トーマツベンチャーサポート株式会社の公式見解では無いことをお断りさせていただきます。

「XTech（クロステック）」とは既存産業とTechnology（IT）の組み合わせのこと

皆さんこんにちは。トーマツベンチャーサポートの納富です。今回はXTech（クロステック又はエクステックと読みます）について解説したいと思います。

ベンチャー企業、もしくはベンチャー業界について調べていると、xxTech（xxには既存産業名が入ることが多い）というワードをよく目にするかと思います。2016年はFinTech（フィンテック）という言葉が流行りましたし、オリンピックが開催されていたときはSportsTech（スポーテック）という言葉もよく耳にしました。このxxTechとはどういう意味なのでしょう。一言でまとめると、「既存産業とTechnology（IT）を組み合わせた製品やサービスの総称」です。FashionTech（ファッションテック）を例にとって詳細に解説していきます。

FashionTechとは、FashionとTechnology（IT）を掛け合わせた造語です。その意味は多様ですが、「FashionとITを組み合わせた製品やサービス」とイメージしていただければ概ね問題ありません。誤解を恐れず言うと、昔ながらの洋服を作って販売するというだけでなく、ITを活用した次に挙げるような「今っぽい」サービスを提供することです。FashionTechの具体例としては、以下のようなものがあります。

- EC専門のファッションブランド
- ファッションの職人や工場のクラウドソーシング
- 洋服や靴のIoT



- 人工知能を使ったファッションコーディネーター
- 高精度カメラを用いた体のサイズ認識
- スマートウォッチ

ここに挙げたものはほんの一例であり、実際には数え切れないほどの FashionTech サービスが存在します。

XTech には様々な種類がありますので、以下に例を挙げておきます。

図表：XTech の一例

既存産業		XTech
Finance (金融)	× Technology	FinTech
Sports (スポーツ)		SportsTech
Fashion (ファッション)		FashionTech
Education (教育)		EdTech
Music (音楽)		MusicTech
Food (フード)		FoodTech
Advertisement (広告)		AdTech
Human Resource (人材)		HRTech
Real Estate (不動産)		RETech (不動産テック)
Media (メディア)		MediaTech
Agriculture (農業)		AgriTech
Healthcare (ヘルスケア)		HealthTech
Clean (環境)		CleanTech
Back-office		BackOfficeTech

なぜXTech が出現したのか

XTech という言葉を出すと、「何にでも Tech をつけているだけなんじゃないのか」という声をよく聞きます。この意見は本当にもっともものですが、なぜXTech という言葉が現れたのかについて説明したいと思います。なお、以下は筆者の見解であることを念のためお断りさせていただきます。

この疑問にお答えするには、2人の登場人物を考えるとわかり易いと思います。その2人とは、既存業界の方とIT業界の方です。面白いことに、既存業界の方にお話を聞くと、IT業

界を除くどの業界でも「この業界は他の業界に比べてIT化が遅れており、将来が不安だ」とおっしゃいます。

例えば、ファッション業界の方でIT化が遅れていることを心配する方は少なくありません。裏を返せば、ファッション業界はIT化の余地が残されていると考えている方が少なくないということです。

これこそがXTechという言葉が出てきた理由です。つまり、XTechという言葉には「ITを使って既存業界を革新する」という意味合いが含まれているのです。xxTechという言葉が使われるときには、既存業界とTechnology（IT）を組み合わせることによって、今まで世の中になかったサービスを提供していくという意味合いがあるのです。

XTechに取り組むのはベンチャー企業だけではない

XTechに取り組んでいるベンチャー企業は多いですが、XTechはベンチャー企業だけのものではありません。既存産業のプレイヤーがITを活用したサービスを展開すれば、それもXTechとなります。一般的に、特に大企業のような既存のプレイヤーは、ベンチャー企業に比べるとヒト・モノ・カネや所属する産業の知識やノウハウを多く所有していますので、XTechに取り組みやすいと考えられます。ファッション業界では、大手アパレル企業や百貨店が、独自又はベンチャー企業と提携してFashionTechに取り組む事例も増えてきていますし、他の分野でも今後このような取り組みは増えていくでしょう。

さて、以上XTechについて解説してきました。XTechとは「既存産業とTechnology（IT）を組み合わせた製品やサービスの総称」でした。既存産業はまだまだIT化の余地が大きいと言われていています。ここはIT化が進んでいないなと思ったら、もしかするとそこにはビジネスチャンスがあり、将来XTechに取り組む企業が現れて新しいサービスが生まれるかもしれません。

次回は「インキュベーション・アクセラレーションプログラム」について

次回は、昨今増加しているインキュベーションプログラム・アクセラレーションプログラムについて解説します。大企業や行政がベンチャー企業の成長を加速させるプログラムについて、皆さんにご紹介させていただきたいと思います。